

2025.10.27

釧路新聞



【浜中】釧路根室管内の建設事業者や首長らでつくる北海道横断自動車道釧路・根室間建設促進期成会（会長・石垣雅敏根室市長、主催の「2025道東自動車道シンポジウム」浜中が26日、町総合文化センターで開かれ、参加した800人余りが道東道の根室延伸が早期に実現するよう意識を共有した。

道東道根室延伸へ意識共有

浜中 建設促進期成会がシンポ

高規格道路整備 必要性訴え

開会にあたり石垣市長は「この地域が持続可能で住む人が安心して暮らせるためには高規格道路の整備が必要不可欠。産業、医療、観光、そして防災上の観点からも重要な役割を担うことを共有する機会にした」とあいさつ。その後、来賓として出席した地元選出の国会議員らが祝辞を寄せた。

800人以上が参加し道東道の根室延伸に対する意識を高めたシンポジウム

前半は、インフラ整備がもたらす地方の発展を考え発信する有志組織「釧路根室圏まちづくりネットワークフォーラム」座長の高田昌利氏が基調講演した。高田氏は2000年代の道路公園民営化で高速道路の在り方が議論され、「このまま地方が黙っている」と切り捨てられる一危険感を抱き、03年に会を発足させた経緯に触れ、道東道が約20年かけて釧路まで延伸したこと、今後は環境負荷の少ない食料生

産基地でもある道東圏域をクリーントランスポートメーシヨン（GX）分野で振興させる構想を提案した。

後半は「道東道延伸の必要性と今後の活性化へ

の道しるべ」をテーマにパネルディスカッションを実施。栗林剛次氏（根室市長）が、それぞれの立場で道東延伸の必要性を訴えた。

最後に齊藤清隆浜中町長が「根室までの延伸が

単なる道路整備ではなく、未来への希望と命をつなぐ道となるよう、釧路根室ワンチームで進めてまいりたい」と呼び掛けた。

（五味亜希子）